

# 踏み跡 <My Mountains>

房総	富山(とみさん)と伊予ヶ岳	No.239
----	---------------	--------

千葉県のをいくつか歩いている内に「いい山あるじゃないか」と思い始めて色々な資料をひも解いて調べ始めた。気になった山をリストアップして、少しずつ歩いてみることにした。色々調べている内に大変興味深い事実に遭遇した。それは、千葉県の山はほとんどが「XX山」という名前で、「XX岳」という山は伊予ヶ岳だけであること。一般にXX岳というと、逞しくいかめしく立派な山を思い浮かべるのがこれまでの発想だった。しかし一番高い山でも海拔 500mに満たぬという低山県に、「XX岳」という名の山が存在した。



こんなことから興味だけはどんどん先行してしまい、リストアップした山の中ではプライオリティが高い（つまり早く行ってみたい）山になった。伊予ヶ岳だけでは時間的に中途半端なので、そばにある富山（とみさん）というこれまた変わった名前の山と合わせて梯子することにしてかみさんを誘った。

平成 5 年 1 2 月 1 2 日

7時半に車で出発。京葉道路経由で国道 127 号線を岩井まで行き、県道に入り富山の登山口の本郷口まで。晴れているので 127 号線から朝の富士山の眺めを期待したが、少々霞みがかかっているスカッとした眺めではなかった。

本郷口に 9 時 39 分に到着。喫茶店の駐車場に車を置いてすぐに出発。福満寺というお寺さんの中を抜けると徐々に山道になってくる。富山は福満寺の奥の院になっているようだ。登山口は海拔 30m なので、300m 余り登ることになる。階段が整備されているが、段差が大きくて歩きにくい。

富山という標識がある頂上に 10 時 45 分に到着。木立の中で見通しはあまり聞かない。この山は双耳峰、三角点がある北峰（349.5m）に移り昼食。十一州一覽台と呼ばれる広い草地で見晴らしは絶好。何よりも真下に見える岩井の町と岩井海岸の曲線、地形図そのままに広がる景色に（当たり前なのに）驚いて見入って



しまう。（上の写真）その向こうに広がる海、三浦半島は思いのほか近く見える。東京湾は霞がかかっている所以对岸は鮮やかには見えないが、房総半島の中の山並みはひとつひとつが鮮やかに見える。下りは鞍部から合戸の堰に下って、里見八犬伝にまつわる伝説として伝わる伏姫籠穴・犬塚などを通って登山口の本郷口に戻った。

登山口に戻り 12 時 55 分に出発し、次の目的地伊予ヶ岳の登山口へ移動。このふたつの山を梯子する人が多いせいだろうか、随所に伊予ヶ岳への道標がある。特徴的な伊予ヶ岳が近づいてくるとワクワクする。

## 踏 み 跡 <My Mountains>

平群の天神郷に 13 時 15 分着。伊予ヶ岳の岩峰を見上げるような位置にある神社の鳥居をくぐって、平群小学校の校庭を通り抜けると山道が始まった。登るにつれて下界の景色が広がり、集落の息づかいが感じられる。



伊予ヶ岳南岳に 13 時 55 分着。狭い岩峰の先端から見る景色は 300m 程度の高さの山とは思えない素晴らしさ。二等三角点がある北峰 (336.6m) を往復して下山。

(左写真：北峰三角点から南峰の岩峰を望む)

途中の休耕田でセリを採って天神郷に 15 時 08 分に帰着。靴を履き替えて 15 時 45 分に帰宅の途についた。

富津の地酒「聖泉」を土産に買って帰り、家で「山行打上げ」を楽しんだ。

以上